

NGN/IMS時代のWebアプリケーション開発

クライアント間マッシュアップ用UA Servletアプリケーションサーバ
「雷電」の紹介とデモ

SIPpropプロジェクト



自己紹介

- 氏名：今村謙之（いまむらのりつな）
- 年齢：29歳＋15ヶ月
- IT業界歴：約7年
- SIP歴：約5年
- 得意言語：Java、C
- 得意分野：SIP、ネットワーク層
（開発～運用、セキュリティー）

- 特記事項：PCサーバ タワー8台運営中(自宅にて)

Agenda

- SIPPropプロジェクトとは
 - 各種プロジェクト概要
- 雷電
 - 背景
 - 設計
 - デモ
 - 可能性

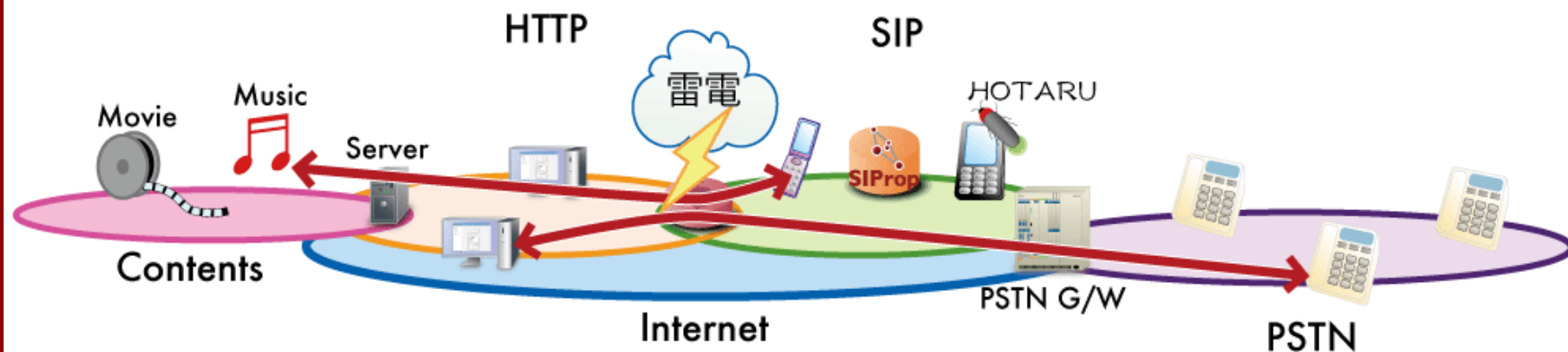
SIPropプロジェクト解説編

SIPPropプロジェクトとは



「メディア（通信媒体）の世界を広げる」

という使命の元、SIPの汎用セッションプロトコルという
特性に注目し、この特性を生かしたOSSアプリを
提案・開発するプロジェクト



プロジェクト一覧

- SIPProp Ver.2.0
 - B2BUAフレームワーク
- 雷電
 - 後述
- P2P SIP実装実験プロジェクト
 - SIPをP2P的に使う場合、
 - IETFのP2PSIPとは、別物。
- HOTARUプロジェクト
 - IMS/SIPv6参照実装開発プロジェクト
 - with WIDEプロジェクト
- 俺流プロトコル実装入門
 - プロトコル実装解説書

何がやりたいのか？

● SIPとは？

- 上位にある様々なネットワーク・アプリケーションのためにセッションの管理を行うための「汎用セッション・プロトコル」

● 現状では？

- IP 電話に付随する通信プロトコルとしての「シグナリング・プロトコル」

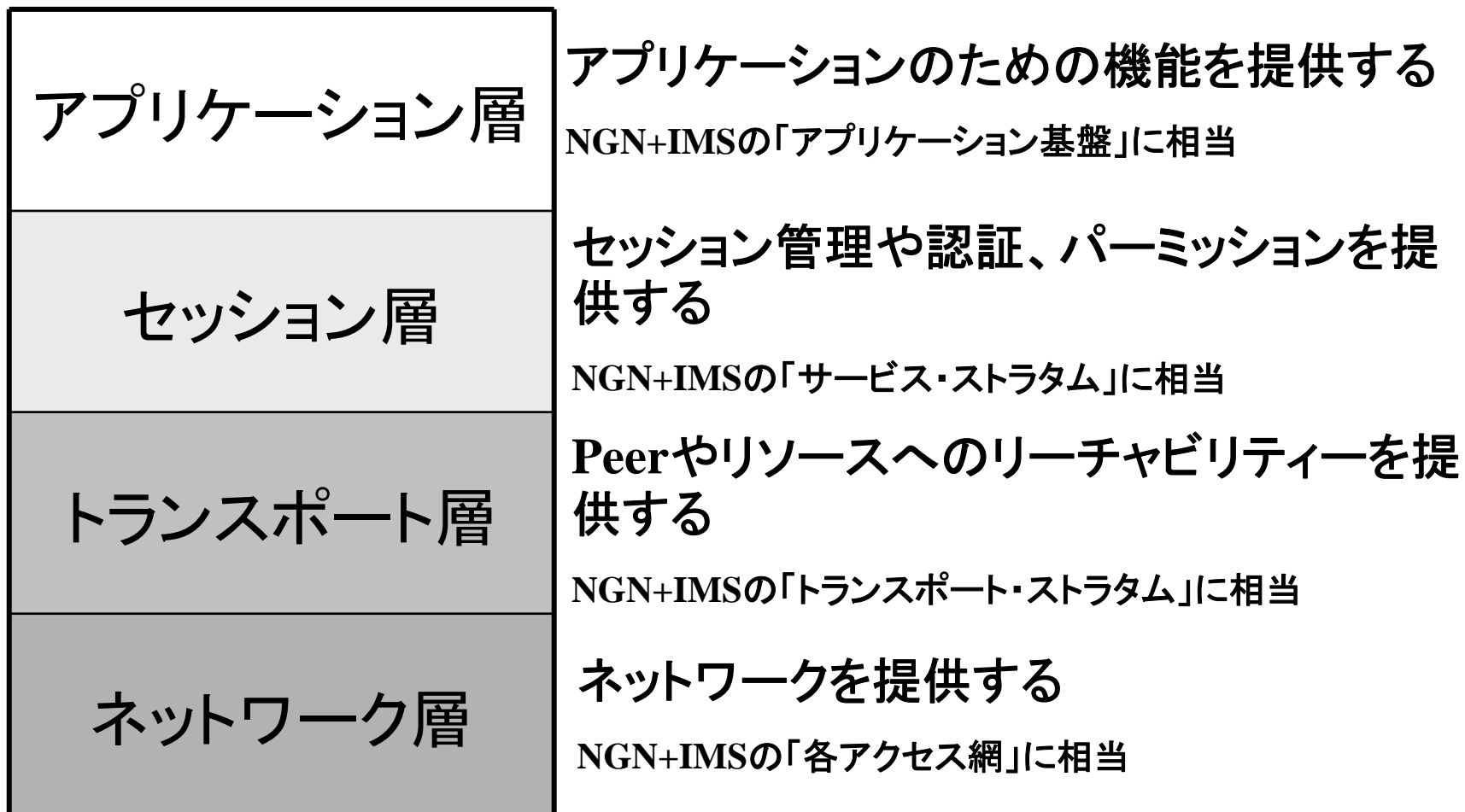
⇒ 汎用セッション・プロトコルとしてのSIPの復権

なぜ、セッション・プロトコルを？

- 無線ネットワークのオープン化
 - 携帯できる無線デバイス(≠携帯電話)の登場
 - WiMAXやらフェムトセルやらの盛り上がり
 - AndroidやiPhone SDKの登場
 - 端末の解放が見えてきた
- アドホックなネットワークの出現
 - 確実にネットワーク接続されているとは限らないし、局所的なデータ処理だけでできればよい
 - 車車間通信による、事故の回避用のデータなど

⇒ ノード間(クライアント間)の通信となるため、セキュリティが重要！！！！

想定する層関係



いいたいことを！

● SIPProp勉強会

- プロトコル屋やネットワーク屋が、しゃべる機会がない！！！！

- 愚痴を言う機会ともいう(;^_^A アセアセ・・・

- 月に一回のペースで開催中

- 次回は明日！一言言いたい人は、是非！

- ATL Systems社さん(in新宿)が、会場を無償提供

● P2P SIP勉強会

- ネットワークについて、一言物申す勉強会

- 詳細は、こちらへアクセス！

- <http://www.p2psip.jp/>

雷電紹介編

●クライアント間マッシュアップ用 B2BUAアプリケーションサーバ

- VoIP(SIP)とWeb(HTTP)をつなぐもの
 - VoIPとWebの相互接続を解決する
- UA、B2BUAベースフレームワークの実装
 - クライアント間マッシュアップが可能
- SIPPropをベースとして実装
 - オープンソース(Apache License2.0)
 - Java実装

自己紹介

- 氏名：鈴木雄介(すずきゆうすけ)
- 年齢：32歳＋3ヶ月
- IT業界歴：約10年
- SIP歴：約0.5年
- 得意言語：Java
- 得意分野：Web、エンタープライズ

- 特記事項：

宣言

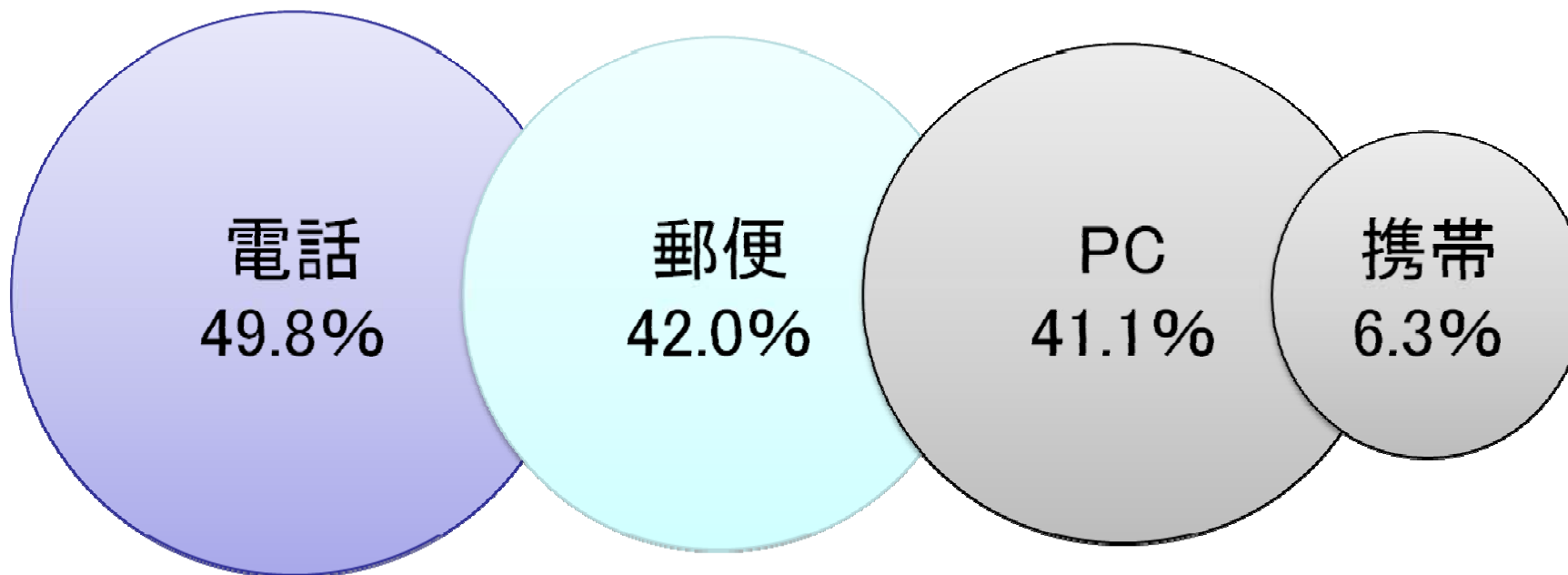
- VoIPカンファレンスですが、普通にWebアプリケーションエンジニアとして話します
- なので、VoIP業界では言っではいけなそうなことについてもKYなので、よろしくです
- そもそも「クライアント間マッシュアップ用B2BUAアプリケーションサーバ」ってなに？
- いまだに雷電の実体はよく分からない
- 今日は、僕なりの解釈を話します。チーム内でも認識は違う
 - でも、どこかでつながっているはず

コミュニケーションの未来



- 電話はなくなる。もちろんWebも
 - どうやって融合していくかがテーマ

<2005年通信販売における受注メディア比率(複数回答可)>



雷電の背景

- Webアプリエンジニアにとって音声は聖域
- 電話とWebのすれ違い
 - プロトコルのすれ違い
 - ステートレスなHTTPとステートフルなSIP
 - アプリケーションのすれ違い
 - Click2Callは電話クライアントをブラウザに埋め込んでいるだけ。アプリが融合しているわけではない
 - CTI(Computer Telephony Integration)は、プロダクトとして完成されすぎ。
- エンジニアのすれ違い
 - 「それ、ベストエフォート？」
 - 「SIPって音質どーなんすか？」

雷電の背景

- どうすれば電話とWebは融合できるのか
 - マルチコンタクトセンターはCTIの延長に過ぎない

- もっとオープンに、もっと自由に可能性を追求するためのプラットフォームが必要

- プラットフォームに求められること
 - リーチが長いこと
 - 標準的な手法であること
 - コネクティビティが高いこと

雷電のキーテクノロジー

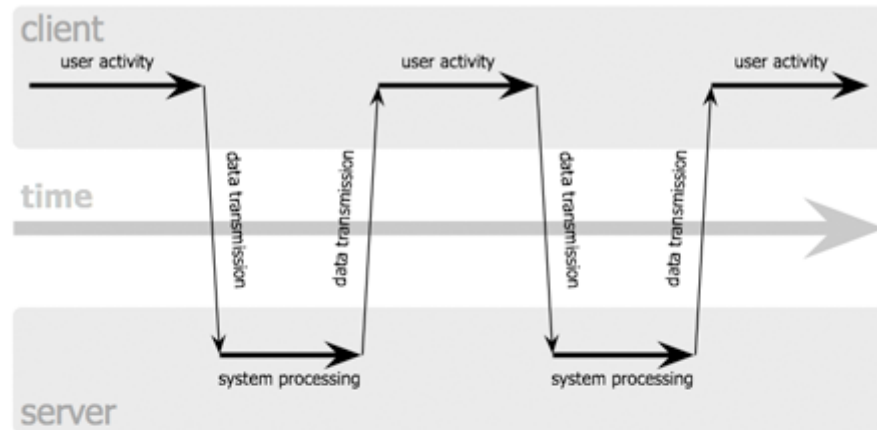
- 雷電を実現する3つの技術
 - COMET
 - プロトコルハンドリング
 - EDA

COMET

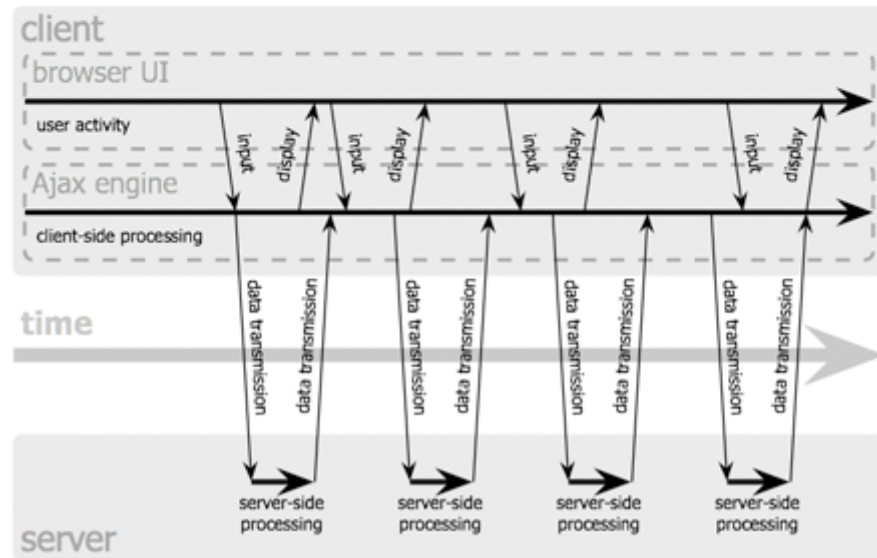
● Ajax

- 通信と画面の描画を非同期に実行することで、通信時間を意識させないようなアプリケーションを構築できる

classic web application model (synchronous)



Ajax web application model (asynchronous)



Jesse James Garrett / adaptivepath.com

<http://adaptivepath.com/ideas/essays/archives/000385.php>

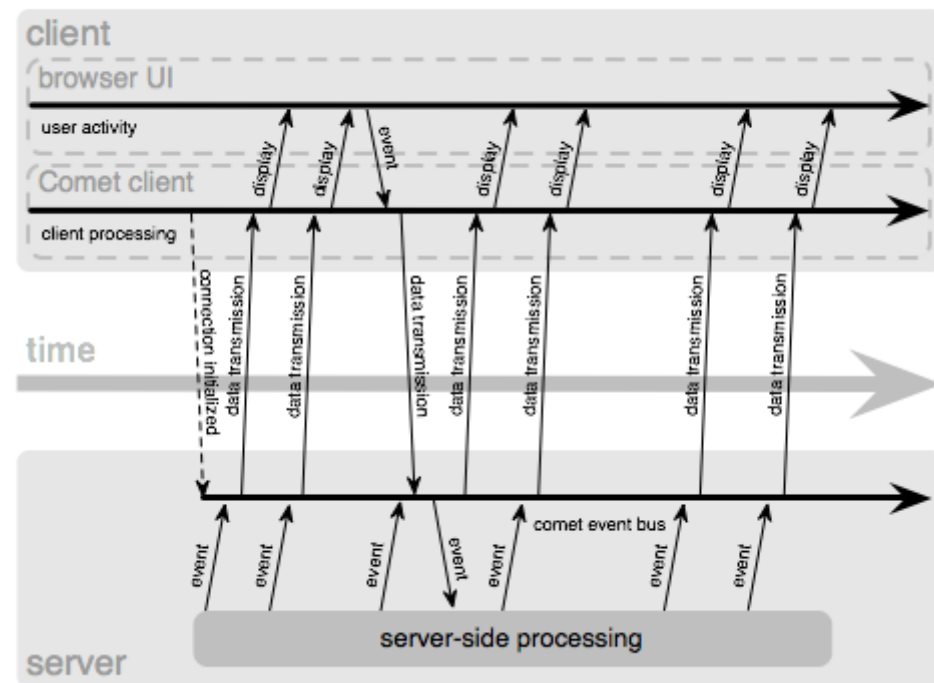
COMET



● COMET

- クライアントからのリクエストを返却せずに保持し、サーバ側でイベントが発生するたびにデータを返却する
- 擬似的なサーバプッシュを実現
- ブラウザがあれば、対応可能

Comet web application model



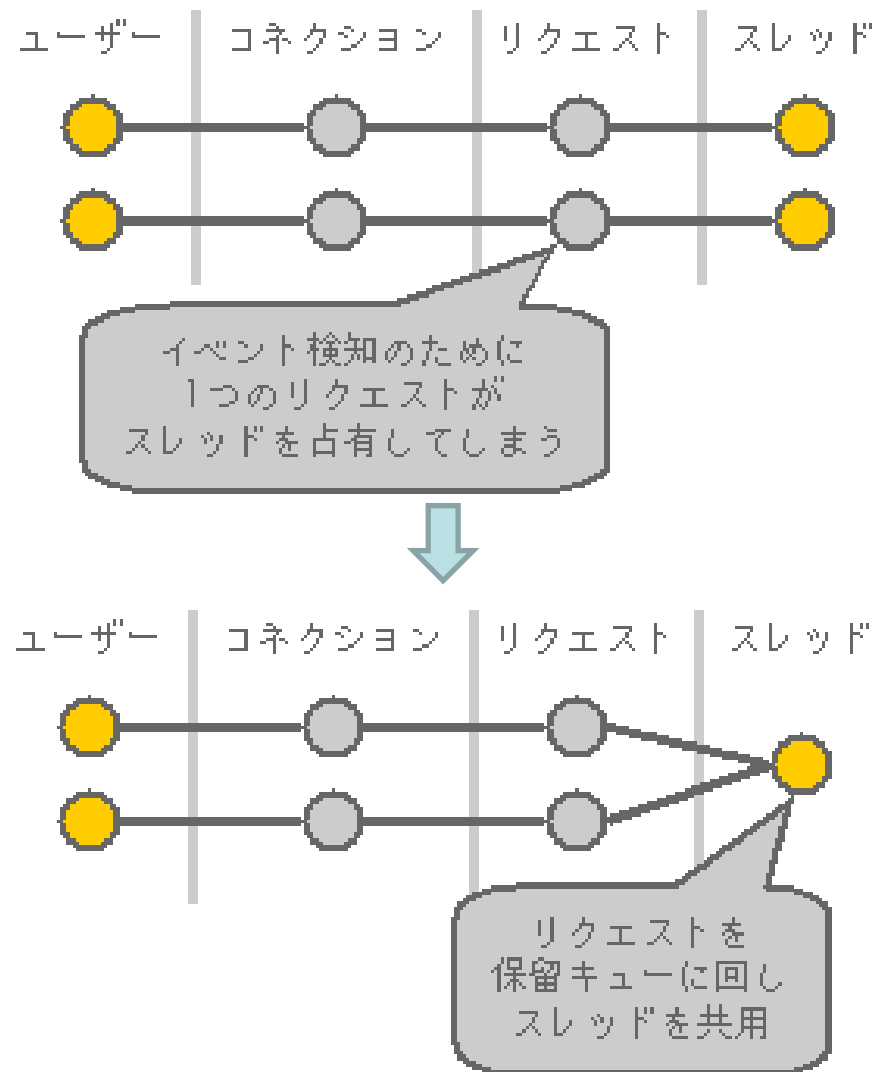
<http://ajaxian.com/index.php?s=alex+russel+interview&searchbutton=Go>

COMET

● 非同期IO

- サーバ側でリクエストにスレッドを割り当ててしまうとリソースの無駄が発生する
- そこでイベントが発生しない限りはリクエストを保留キューに置いてスレッドは共用する

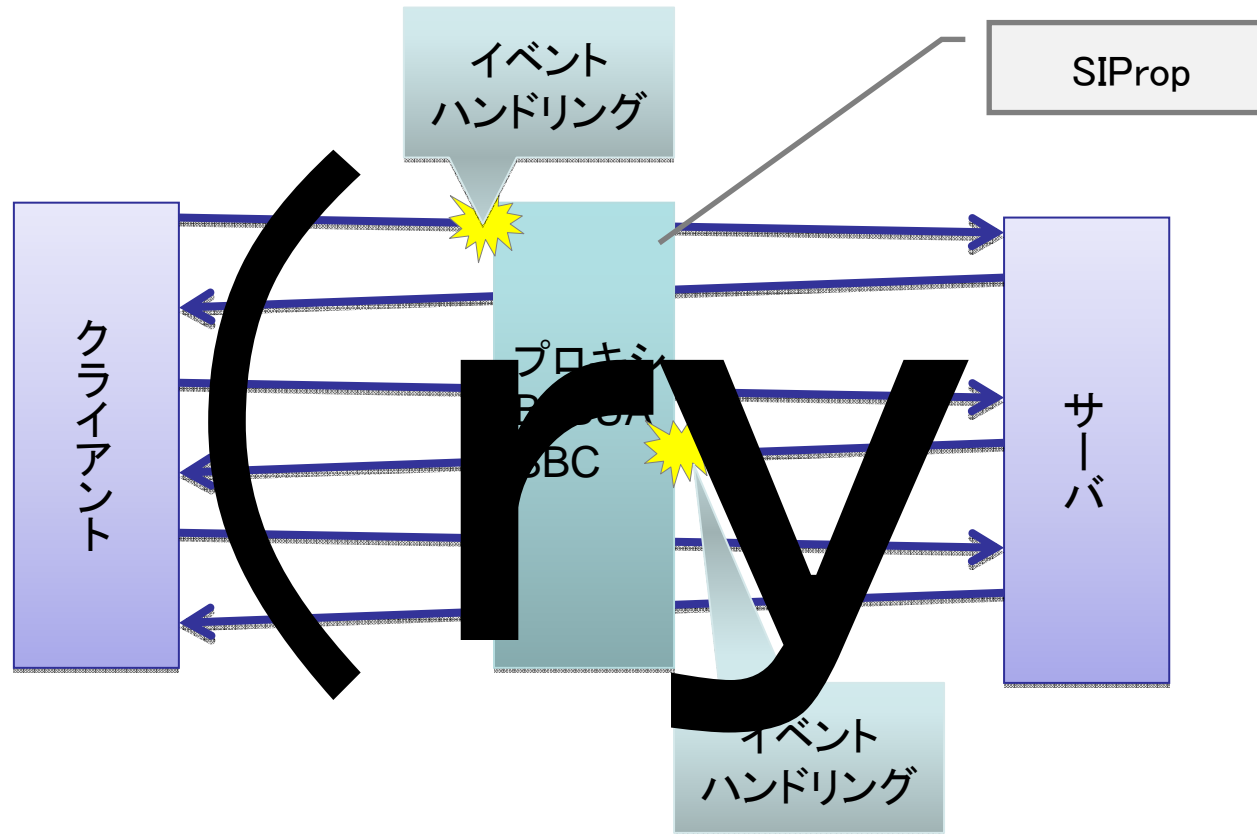
● 今回はApache Tomcat 6で実現



<http://d.hatena.ne.jp/brazil/20050921/1127284397>

プロトコルハンドリング

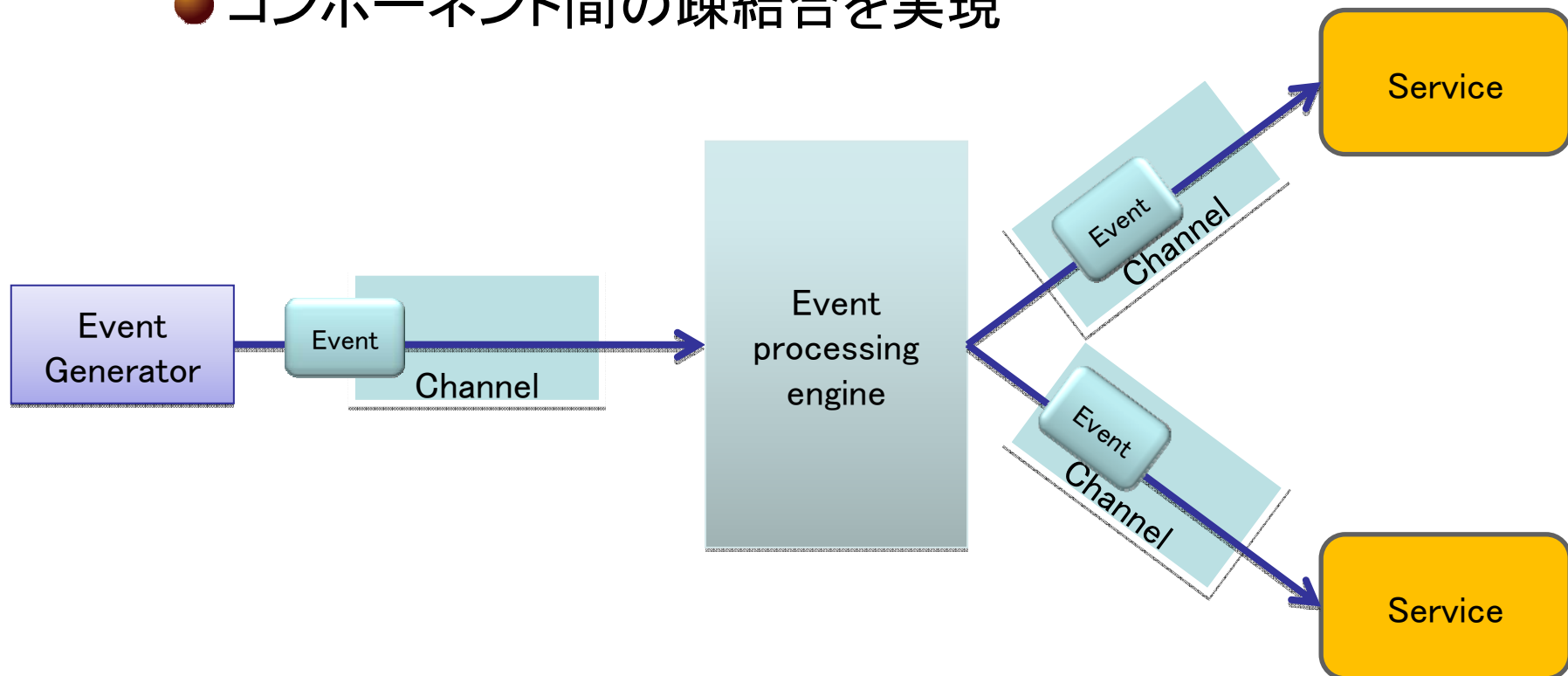
● プロトコルのハンドリング



EDA

● EDA (Event-Driven Architecture)

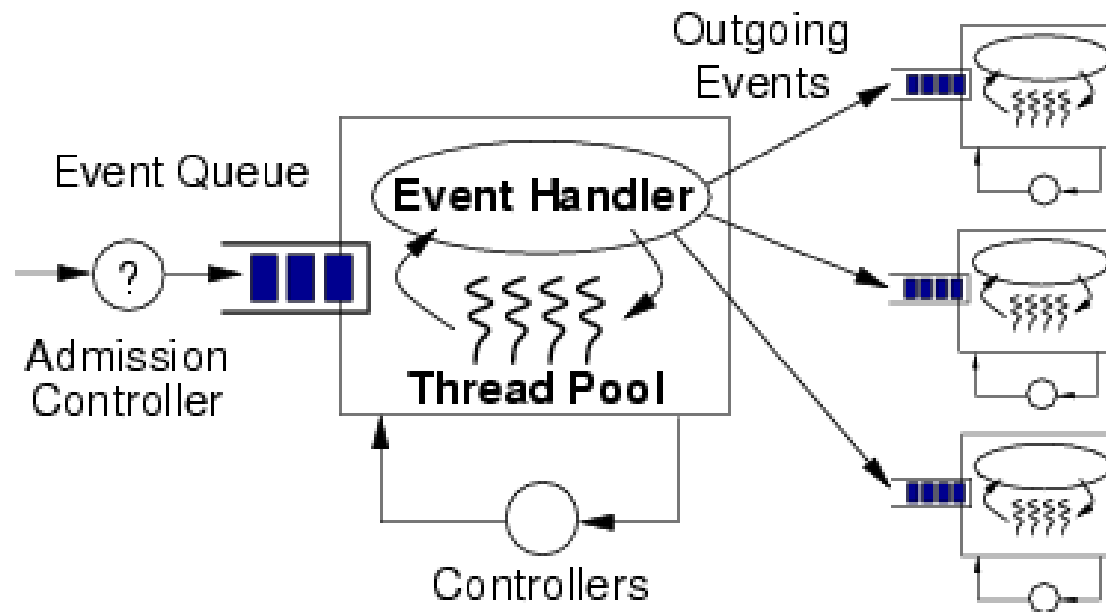
- イベントを通じてSenderとReceiverを分離
- IdentityとLocationも分離
- コンポーネント間の疎結合を実現



EDA

● SEDA (Staged Event-Driven Architecture)

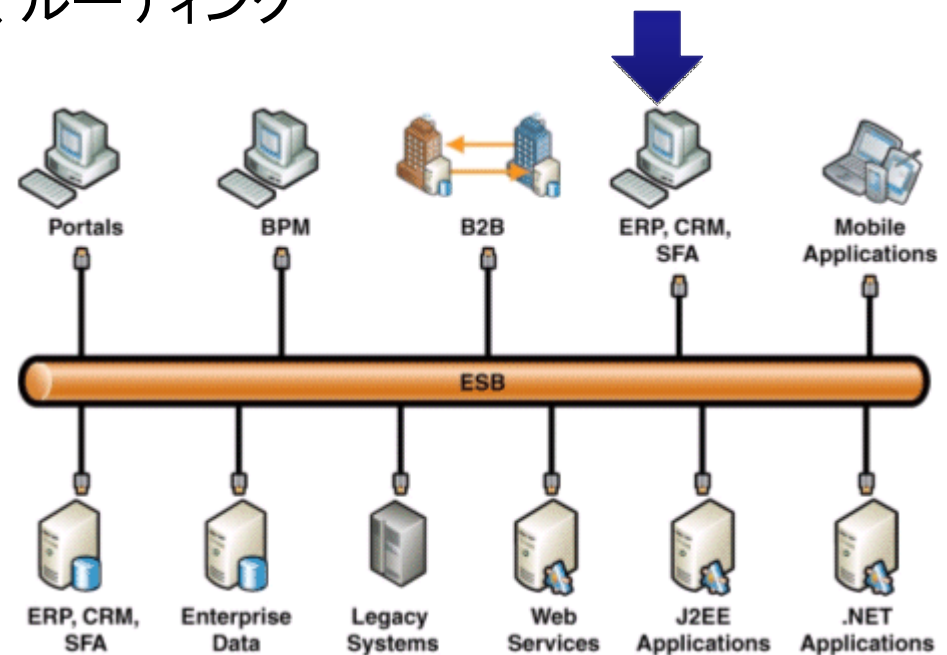
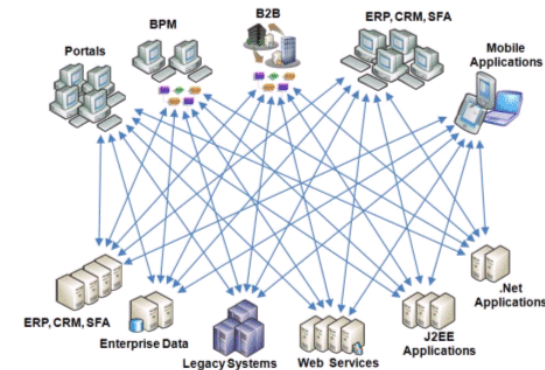
- ステージに区切ってスレッドプールを実装する
- ステージ間はイベントドリブンで会話する
- 全体としてのスループットが調整可能になる



http://www.usenix.org/events/usits03/tech/full_papers/welsh/welsh_html/index.html

● ESB (Enterprise Service Bus)

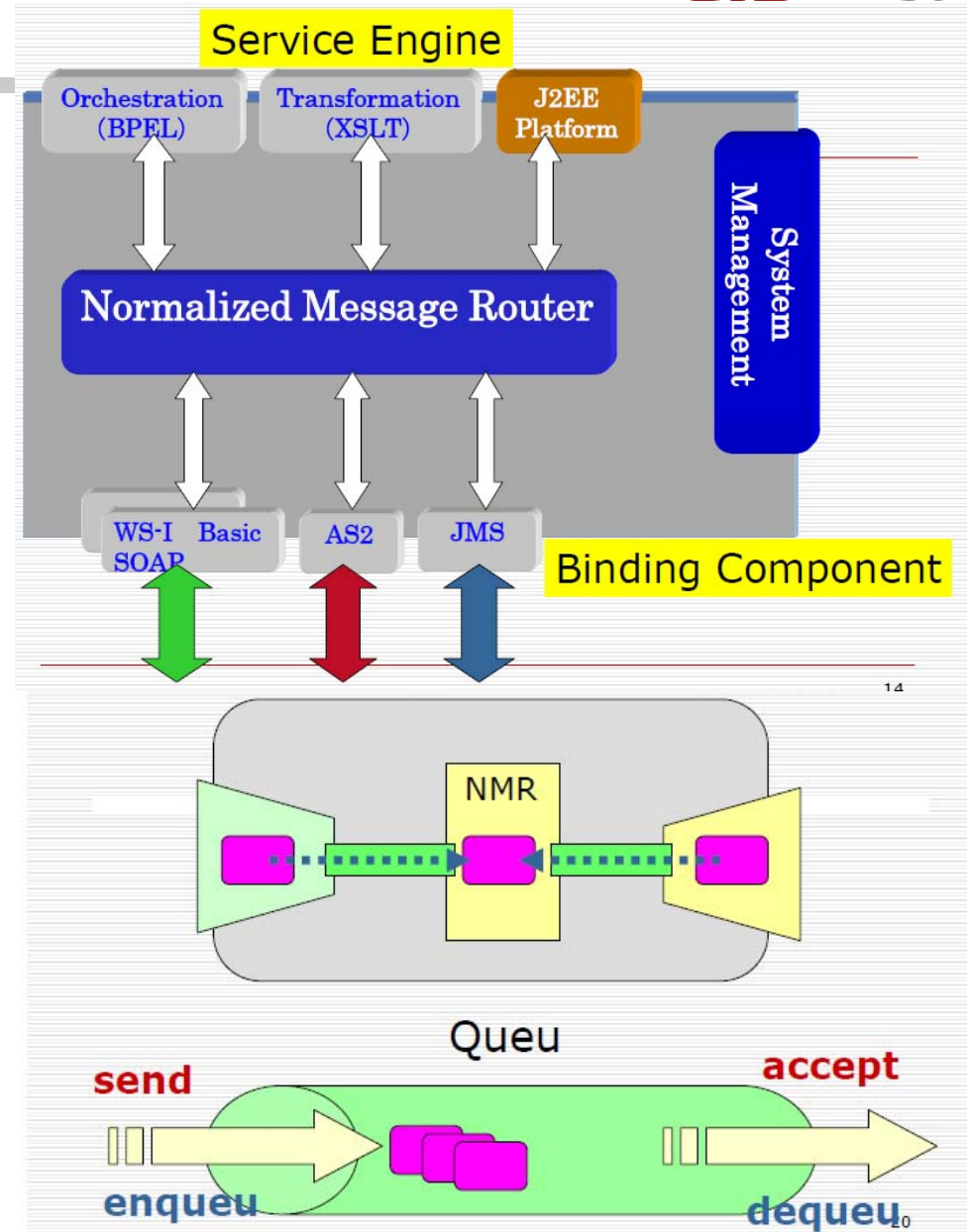
- 中央にメッセージングバス
- メッセージの様々な交換
 - HTTP、SOAP、JMS
 - パブリッシュ&サブスクライブ、ストア
フォワードメッセージ、ルーティング
 - 同期、非同期



EDA

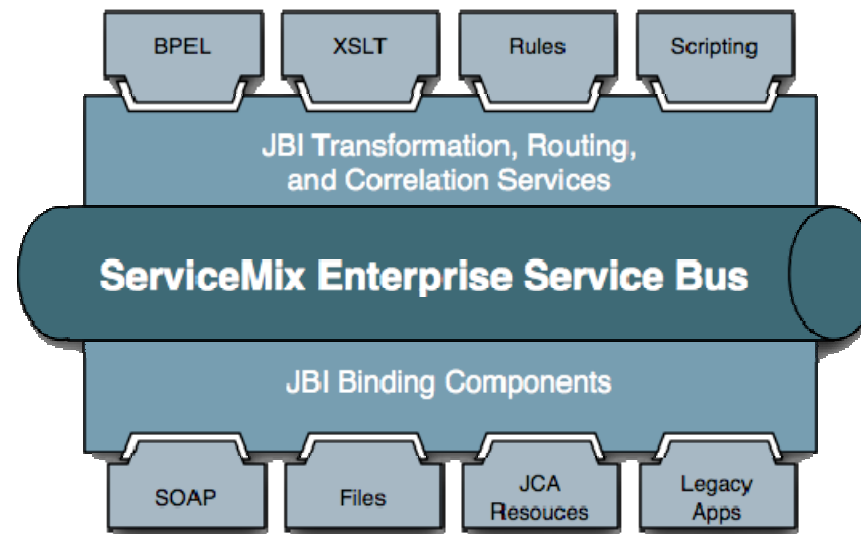
● JBI

- JavaにおけるESBの標準仕様
- JBIのコンテナがバスとして機能する
- バスの中ではNMR (Normalized Message Router) が中央にいて、登録されたコンポーネント間のメッセージのルーティングする



● ServiceMix

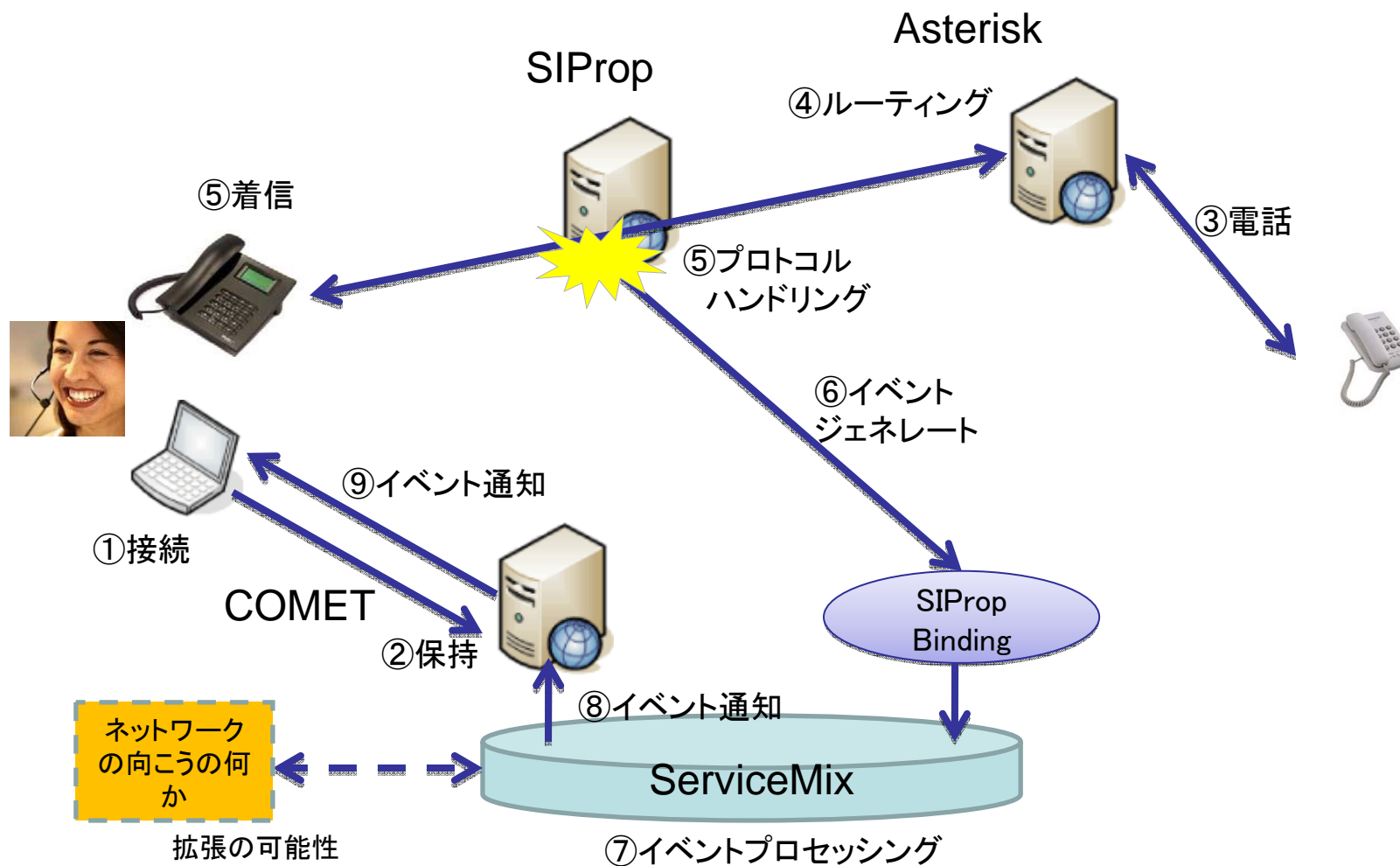
- <http://servicemix.apache.org/home.html>
- JBI(Java Business Integration)の実装
- SEDAを実装したESBエンジンを搭載
 - JBI上に登録された各コンポーネントをステージとして扱う
 - コンポーネント間のやり取りはJBIの仕様上でイベントドリブンに処理が行われる



雷電のキーテクノロジー

- プラットフォームに求められること
 - リーチが長いこと
 - COMETは、ほとんどのブラウザが対応
 - 標準的な手法であること
 - プロトコルハンドリングは、公開された情報で、かつアプリケーションに非依存でアクセス可能
 - コネクティビティが高いこと
 - EDAによってモジュールを疎結合に保ったまま連携可能
 - SOAとしての連携が可能。分散環境へのサポート

● 僕の中での雷電: COMET + SIPProp + ServiceMix



デモ見てね(はあと)

雷電の可能性

- マッシュアップによる新しい価値の創出
 - それが何かは、今は分からない
- たとえば、
 - マルチプロトコル
 - XMPP (Jabber)、SMTP、FTP、SOAP、XML、JMS
 - マルチアプリケーション
 - PBX、ケータイ、動画、GIS、エンタープライズ、Web2.0
 - マルチタレント
 - 電話、Web、デザイナー、スーツ

雷電の裏事情

● 某ネットワークの不透明性

- 承認が必要？
- 利用料は？

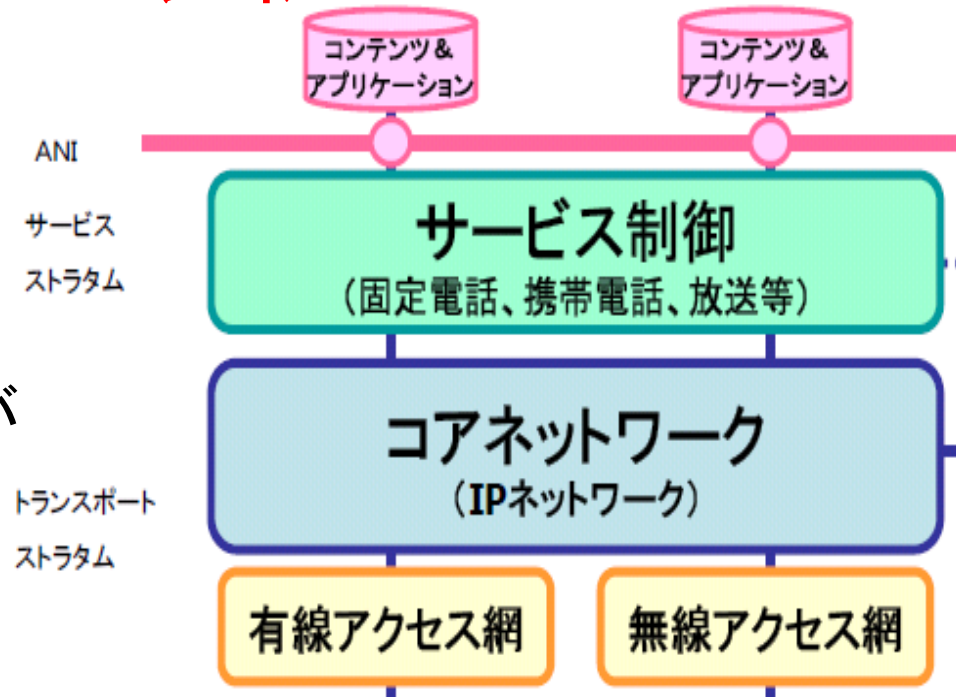
⇒ **ベストエフォートバージョン**

● 雷電

- コンテンツ
アプリケーションサーバ

● SIPProp

- サービス制御



出典: 沖電気 千村様公開プレゼン資料より

ご静聴ありがとうございました。

<(_ _)>

<http://www.siprop.org/>

Blog: <http://noritsuna.siprop.org/>